

参考: 現行の庁内フロー及び使用ツール

本プロポーザルの提案にあたって、以下の「現行の庁内フロー」を参考に提示する。他のキャンペーンと同時で活用するなど、各広報媒体の最適化に取り組むこと。

1. 各業務の現行フロー(現状)

媒体名	依頼・連携ツール	現行の業務フローと運用概要
プレスリリース (PRTIMES)	Logo フォーム	■PRTIMES の場合 ①担当課が資料をフォーム(Logo フォーム)に入力・発信依頼。 ②広報プロモーション課が原稿作成・校正。 ③担当課の確認・修正 ④委託事業者による校正 ⑤担当課の確認・承認を経て配信 ※令和 7 年度で約 90 件発信見込み。
		■市政記者クラブ向けプレスリリース ①担当課でプレスリリースを作成し、フォームに入力・発信依頼。 ②広報プロモーション課で軽微な修正 ③市政記者クラブに向けて E-mail で配信。 ※年間 300 件～400 件程度の発信。市民向け事業、市外が混在している。現在は、記者クラブのみが閲覧でき、ホームページ上には掲載していない。

記者会見	-	<p>①担当課から各部ごとに情報を集約。</p> <p>②広報プロモーション課で他媒体(SNS、HP 公開、PRTIMES など)と連動させた発信計画を策定・実施。</p> <p>※市政記者クラブの記者に限って参加。定例、臨時あわせて年間9回程開催。当日の資料はホームページに掲載。記者会見での案件内容を同日、PRTIMES で発信する仕組み。</p>
LINE	desknet's NEO の AppSuite	<p>①担当課が AppSuite のカレンダーで空き枠を確認し、2週間前までに予約・資料提供。</p> <p>②広報プロモーション課がクリエイティブ(画像・テキスト)を制作。 (kANAMETO というツールを利用)</p> <p>③担当課確認後に配信。</p> <p>※友だち登録者数が 3 万人を超えており、市の発信の重要なツールとして位置付け。防災関係や非常時をのぞき、1日2回までの配信に限定。年間 600 件程配信をしている。</p> <p>市公式ホームページのイベントカレンダーのジャンルとあわせ、セグメント配信を令和 7 年2月から実施。配信は正午、19 時 30 分と時間を設定している。市の主催、共催、後援団体によって配信可能枠を設定。 ・後援事業は火、水、木の正午に限定。</p>
Facebook	desknet's NEO の AppSuite	<p>①LINE と同様に AppSuite で予約。</p> <p>②広報プロモーション課が記事をリライト・校正。</p> <p>③担当課確認後に投稿。</p> <p>※meta ビジネスポートフォリオで管理。配信は1日2回までとし、正午、19 時としている。関連団体のシェアなどは柔軟に対応している。</p> <p>※PRTIMES 発信と連動して発信。</p>

Instagram	広報プロモーション課で運用	<p>広報プロモーション課の独自運用を基本とするため、各課からの投稿依頼は原則断っている。</p> <p>※ただし、「ストーリーズ」でのシェア等は内容により柔軟に対応。</p>
X	広報プロモーション課で運用	<p>Facebook や PRTIMES と連動させて発信。</p> <p>※リポストは柔軟に対応。</p>
広報誌	Logo フォーム	<p>①担当課が約 2 ヶ月前に Logo フォームで原稿を提出。</p> <p>②広報プロモーション課が校正・編集。</p> <p>③入稿(1 ヶ月前)→校正→前月 22 日頃校了。</p> <p>※特集記事は広報プロモーション課が取材・デザインを主導。発行の 40 日前を目途に編集会議にて特集記事などを決める。</p>